

富屋特別支援学校だより (号外)

～高等部作業学習の地域貢献活動の取組～

令和6年10月

本校高等部には現在131名の生徒が在籍しており、将来の自立に向けて学習に取り組んでいます。今回は、昨年度より行っている高等部環境班による地域のバス停清掃や近隣高齢者施設特別養護老人ホーム敬祥苑（宝木本町）での除草等の地域貢献活動について紹介します。

9月24日(火)に、地域社会への参加・貢献の態度の育成を目的として、関東自動車山王団地バス待合所と学校近くの日光街道バス停を清掃しました。これまでの残暑が嘘のように秋らしくなった晴天の元、生徒たちは時刻表を雑巾で拭いたり、待合所の天井にかかった蜘蛛の巣を払ったり、除草などの清掃を行いました。

10月10日(木)には、特別養護老人ホーム敬祥苑に行き、除草作業等を行いました。除草や落ち葉掃きなどを行い、垣根に生えたつる性の雑草を取るのに悪戦苦闘しながらも頑張っている様子が見られました。活動の最後には、副施設長様に活動の感想を伝える生徒や満足な笑みを浮かべる生徒もいました。

清掃活動を通して、バスの運転手さんや地域の皆さん、施設長様や職員の方から「ありがとう」の声を直接かけていただく体験ができ、活動を終えて「きれいにできてよかった」や「うれしかった」「また、来たい」などの感想が生徒たちから聞かれました。

本校の生徒が、校内だけでなく地域社会での様々な経験を通して、社会に参加しながら生活していくことの大切さを学ぶことができるよう、今後とも地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

バス停清掃の活動の様子



特別養護老人ホーム敬祥苑での活動の様子



*高等部は火・木に作業学習の時間を設定し、1年生から3年生を縦割りの環境・手芸・農業・紙工・受託加工の5つの作業班に分けて働くために必要な学習を行っています。